

日吉台地下壕保存の会

会報

第19号

発行 日吉台地下壕保存の会

編集 事務局

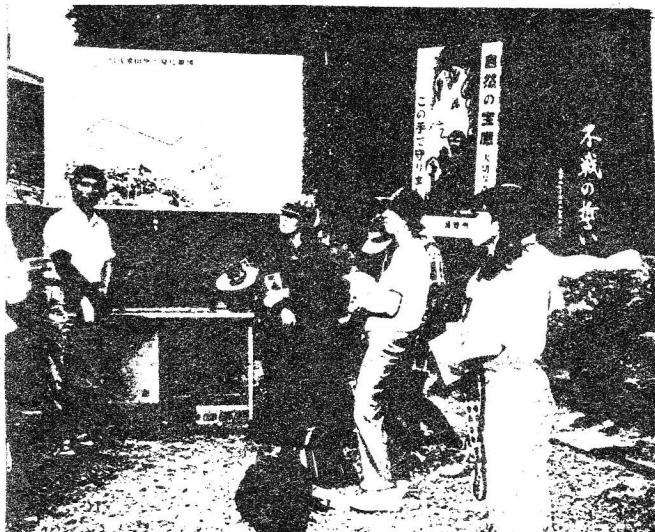
223 横浜市港北区下田町3-15-27

寺田方 TEL.045-562-1282

(年会費) 一口千円で、一口以上

郵便振込 (口座番号) 横浜2-62997

(加入者名) 日吉台地下壕保存の会



松代大本營（蓼山）地下壕の入口前で話聞く会員

目 次 頁

○ソフィの選択	1
○第3回幹事会報告	2
○第4回幹事会報告	2
○第5回幹事会報告	3
○第1回イベント打ち合せ会	3
○松代大本營	
地下壕見学会感想文	4
○編集後記	4

リ フ ィ の 選 択

副会長 東郷秀光

日吉の地下号を私はまだ見ていない。

一枚の版画がいま私の手元にある。桑の
切株との原が描かれており、その全体の
色調は黄で、わずかに空が見えるものだ。
この風景には何の変哲もなさそうだが、
やはり何かが潜んでいる。足尾銅毒事件
とその反対の闘いを知るとき、全く別物
に見えてくるからだ。

そういえば『ソフィの選択』でも、青
年ステンゴが過去を持つソフィに心を寄
せることから、彼女のアウシュビツツ体
験を知り、やがてナチスの暴虐を知るに
いたるのだった。

一般論としては戦争に賛成する人はだ
れもいない。状況が一見複雑なため、
「現実論」が優位を占めるのだ。事柄に
関心を深め、正確に理解することがすべ
ての出発点だ。

やはり日吉の地下壕には入つてみよう。

- 第三回幹事会△会報出入口**
日時 七月一六日午後五時半
場所 藤山記念館大會議室
報告事項
一、会員数四九八名
(六月一六日現在)
二、六月五日：県委託「神奈川と朝鮮との関係史委員会」
三、六月二八日：大学生協東京地連主催「八王子浅川の地下壕」見学会。二一名参加。
四、七月一二日：日吉にんげんセミナー「日吉台地下壕」足元に眠る戦争の証人で、地下壕見学会を急きよ変更し、日吉台地下壕についてビデオを使って講演を開催した。五五名参加。
五、七月二一日：聞き取り調査予定。
六、七月二六～二七日：地下壕関係団体全国集会。
- 1 七月二二日（火）日吉駅
議事
改札口前に一〇時に集合。
- 1 今後の具体的な活動計画
5 海軍はここで何をしていましたか。

- 二、地下壕関連の第三回全国交流集会について**
三、パンフレットの発行
資料集をもとに、みんなで夏休み中に分担してやる。
大きさ：A5
部数：二四〇〇
原稿〆切：九月三〇日
内容：
1 地下壕が掘られた時代背景（年表を入れる）
2 地下壕の分布と概要（航空写真を入れる）
3なぜ海軍が日吉にきたか。
4 地下壕をどの様に掘ったか。
- 2 一二月八日前後にどこか、(川崎市平和館)で、他の団体（登戸研究所を調査している団体など）との共催で「平和のための戦争展」を開催する。

- 第四回幹事会△会報出入口**
日時 八月一四日一〇時
場所 日吉地区センター
報告事項
一、会員数四九九名
(八月一三日現在)
二、七月二一日：もと鶴見のさかえ地区の河川敷について、さかえ団地に移つてこられた人々に聞き取り調査をした。
三、七月二七日：区政推進課に行き、課員に会報と生協ニュースを渡し、地下壕の保存について話合つた。
ついで市役所の市民局広報課長に会つて、地下壕の保存について話合い、保存の要望をしてきた。
- 八、八月一二日：区政推進課長に会い、地下壕保存について話合い、保存の要請をすると共に、市の方に働きかけて頂くようにお願いをしてきた。また、一度区長や区や市役所の関係部署の方に、地下壕の見学に来て頂くようにな要望してきた。
- これまで横浜市では二〇一〇年を目標年次とした新総合計画の策定に取り組んでおり、その中に取り入れられる様にする必要があるので

- 6 日吉台地下壕と空襲
7 米軍進駐と戦後の日吉
8 地下壕保存の意義と方法
(市長と県知事への要請文を載せる)
- 五、八月四日：寺田、茂呂、田中（県高校社会科教科研究）の三人で、地下壕出入口の地主の方に地下壕見学会の再開のお願いに行つた。快く承知して下さった。
- 六、八月七～八日：松代の地下壕の見学会に一五名参加。
七、八月一一日：日吉本町の小野宅、加藤宅、高田の宮田宅（元連合艦隊司令部付暗号隊員）に聞き取り調査をした。
- 五、八月四日：寺田、茂呂、田中（県高校社会科教科研究）の三人で、地下壕出入口の地主の方に地下壕見学会の再開のお願いに行つた。快く承知して下さった。
- 六、八月四日：寺田、茂呂、田中（県高校社会科教科研究）の三人で、地下壕出入口の地主の方に地下壕見学会の再開のお願いに行つた。快く承知して下さった。

(3)

九、八月一三日：日吉本町の川田宅に聞き取り調査をした。

○議事

一、パンフレットの発行
【内容と分担】

○目次（1P）

1 地下壕が掘られた時代背景
（2P）加賀谷

2 地下壕の分布と概要
（6P）寺田

3なぜ海軍が日吉にきたか
（2P）林

4 地下壕をどの様に掘ったか
（3P）小園

5 海軍はここで何をしていましたか。
（3P）中沢

6 日吉台地下壕と空襲
（3P）亀岡

7 米軍進駐と戦後の日吉
（2P）谷藤

8 地下壕保存の意義と方法
（2P）白鶴

○レイアウト・字数

加賀谷と寺田で考える。 一、イベント計画について

四、八月三〇日：日吉に住んでいらっしゃる鄭さんに聞

三、見学会

はないか。また、機会を見
て見学したいとのことであ
った。

九、八月二三日：日吉本町の
川田宅に聞き取り調査をし
た。

一、パンフレットの発行 「内容二分田」

「内容と分担」

日時：一二二月八日前後
実行委員長：亀岡

1 地下壕が掘られた時代背景

2 地下壕の分布と概要

3なぜ海軍が日吉にきたか

4 地下壕をどの様に掘つたか

5 海軍はここで何をしていた

(3P) 中沢

(3P) 亀岡

(2P) 谷藤

8 地下壕保存の意義と方法 (2P) 白鶴

○レイアウト・字数

一、イベント計画について
平和のための戦争展（仮称）
を保存の会と登戸研究所の
調査をしているグループな
どとの共催で、川崎市平和
館で行う。

日時：一二月八日前後

実行委員長：亀岡

報告事項

事務局長より

、会員数＝五〇二名

（九月八日現在）

一、八月一八日：盲学校の先
生の研修会で、地下壕を見
学。約一九名参加。

一、八月二〇～二六日：県の
「神奈川と朝鮮との関係史」
調査委員会による韓国調査。
道庁・市庁・役場・図書館
の資料調べ、強制連行者家
族の聞き取りなどを行う。

韓国のテレビ・新聞等の二
ユースで放映・掲載された。

四、八月三〇日：日吉に住んでいらっしゃる鄭さんに聞き取りをした。

五、九月四日：元連合艦隊司令部通信隊の布川氏と会い、元通信隊員の会の地下壕にて見学会の打ち合せをした。
一〇月三日に見学予定。

六、九月五日：神奈川県高等学校教科研究会社会科部会の見学会を、部会の係りの先生方と打ち合せをした。
一一月三日に見学予定。

議事

一、パンフレットの発行
(内容) 中学生以上を対象として、です・ます調で書く
カット・イラスト：岡上(字数) 一頁二段、一段は二三字×一八行＝四一四二、イベント計画について
○平和のための戦争展(仮題)
* 日時：一二月一二日(一)
～一三日(日)、
九時～一七時
* 法政二高の渡辺先生と打ち合せ：九月一〇日
(木) 午後五時半、

三、見学会　日吉台地下壕の見学会を近いうちに行へ。

第一回イベンント　打合せ△△

日時：九月一〇日（木）午後五時半～八時

場所：日吉地区センター

参加者：日吉台地下壕関係者　登戸研究所関係者

内容：司会：寺田

一、自己紹介

二、登戸研究所の紹介＝渡辺　日吉台地下壕の紹介＝寺田

三、イベントの打合せ

*日時：一二月一二日（土）～一三日（日）九時～一七時

*場所：川崎市平和館

*主催：平和のための戦争展　実行委員会

*委員会代表：渡辺、寺田

*イベントのタイトル：
「私の町から戦争が見える」
：：登戸研究所・日吉台
地下壕の謎を追う……

*実行委員長：亀岡（日吉台）

*会計：白鶴（日吉台）

*呼びかけ団体・呼びかけ人の募集

次回の会合までに、呼びかけ団体または呼びかけ人になつて頂く団体または人を集める。

*イベントの内容

- 1 ビデオの上映
- 2 映画の上映
- 3 講演
- 4 シンポジウム
- 5 展示
- 6 出店

*イベントの宣伝を兼ねて
一月頃、登戸研究所と日吉台地下壕の見学会を行う。

松代 大本營

地下壕見学会△

感想文

壱岐尚子

まぼろしの大本營松代の見学をおえ、色々な思いをかかえながら無事に帰つてしまつた。観光気分で行つた自分を恥ながら……

思えばふとこんな会話が突然耳に飛び込んできたのが、一〇年前のあるスナック内でのことでした。となりの学生たち数人のグループが楽しげにやつており、そのなにげない会話のやりとりに、私の耳はくぎづけとなつてしましました。

「おい！ 日吉の町は地下壕の上にあるんだってさ！ 中は迷路になつていて入つていつた人が出れなくなつて白骨になつているんだって、おまえこの話知つてつかよ！」

学生たちはおもしろがつてみんな口々に「その話は聞いたことがあるけど大学のどこに

出入口があるか見たことないなアー！」 「オレも話だけは聞いたことある……」 「うわさの段階でこの話は終わつてしまひました。

日吉へ越してきて間もない

まいました。

「何のための地下壕なんだろ

う？」なぜうわさだけで本

当のことがわからないのだろ

うか……と数日間はそのこ

とで頭がいっぱいだつたこと

を思い出します。一年前の新

聞で思わず「あッ！ このこと

だつたんだ」と日吉台地下壕

記事をむさぼり読み、指定さ

と思つたのが手遅い記事で集

まつた人は帰りかけていまし

た。私は残つてゐる数人の人

たちに近づき「保存の会」に

入会することが出来ました。

そして、この松代の地へと、

学生たちのなにげない会話か

ら、このようない見学会に参加

できるとは、戦後生まれの私

にとって松代は嚴肅な気持ち

にさせられた貴重な大遺跡で

した。

◆この秋も行事が一杯で

忙しくなりそうです。地

下壕のパンフレットの発

行も軌道に乗り、一二月

には出版できるかと思いま

した。

◆活動その他で、あつとい

う間に終わつてしまいま

した。

◆この秋も行事が一杯で

忙しくなりそうです。地

下壕のパンフレットの発

行も軌道に乗り、一二月

には出版できるかと思いま

した。

◆この秋も行事が一杯で

忙しくなりそうです。地

下壕のパンフレットの発

行も軌道に乗り、一二月

には出版できるかと思いま

した。

◆イベント計画は共催の

登戸研究所関係の方も我

々幹事もやる気十分で準備を進めていますので、

会員の皆さん温かい御

支援をお願いします。

編集後記

◆会報を出すのが遅くな

だつたんだ

と日吉台地下壕

記事をむさぼり読み、指定さ

と思つたのが手遅い記事で集

まつた人は帰りかけていまし

た。私は残つてゐる数人の人

たちに近づき「保存の会」に

入会することが出来ました。

そして、このようない見学会に参加

できるとは、戦後生まれの私

にとって松代は嚴肅な気持ち

にさせられた貴重な大遺跡で

した。

◆活動その他で、あつとい

う間に終わつてしまいま

した。

◆この秋も行事が一杯で

忙しくなりそうです。地

下壕のパンフレットの発

行も軌道に乗り、一二月

には出版できるかと思いま

した。

◆この秋も行事が一杯で

忙しくなりそうです。地